



第36回オールジャパンレディスボウリングトーナメント with MEN



開催日 2024年5月31日(金)～6月2日(日)

会場 長崎県・パラダイスボウル

主催 公益財団法人 JAPAN BOWLING

後援 公益社団法人日本ボウリング場協会

女性スポーツ財団日本支部 (WSF Japan)

公益財団法人長崎県スポーツ協会

長崎新聞社

協賛 株式会社サンブリッジ

ミーフコーポレーション

協力 日本ボウリング機構 (JBO)

主管運営 長崎県ボウリング連盟



第36回オールジャパンレディスボウリングトーナメント with MEN

目次

ご挨拶	【公益財団法人 JAPAN BOWLING 会長】	2
ご挨拶	【公益財団法人 JAPAN BOWLING Lプロジェクト委員長】	3
歓迎のご挨拶	【長崎県ボウリング連盟 会長】	4
大会役員名簿		5
競技役員名簿		6
大会審判員名簿		6
開催要項		7~10
競技規定(抜粋)		11~12
大会日程表		13~14
レーン配当表		15~19
栄光の記録		20~24
第35回オールジャパンレディスボウリングトーナメント 記録		25





ご 挨拶

第36回オールジャパンレディストーナメント with MEN 会長
公益財団法人 JAPAN BOWLING 会長
北 川 薫

第36回オールジャパンレディスボウリングトーナメント with MENの開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

この4月、全日本ボウリング協会は「公益財団法人 JAPAN BOWLING (JB)」に名称を変更いたしました。「Bowl for All!」を合言葉に、全ての人がボウリングに親しめる環境を提供してゆきます。

女性選手の活躍を促すことは、JBの大きなミッションであり、スポーツ界全体の願いであります。このオールジャパンレディスボウリングトーナメントは、女性がボウリングを楽しみながら活躍する場として、創設から36回目を迎えました。

選手が活躍するためには、その舞台である大会を支えてくださる方々が不可欠です。そして、スタッフとしてだけでなく、ともにプレーすることで支えるという方法もあるという事を、JBは本大会を通じてボウラーの皆さんに提案したいと考えました。昨年から本大会は「with MEN」と題して、女性ボウラーはもちろん、男性ボウラーも仲間として大会に参加し、ともにプレーできる形式を取り入れています。

ボウリングは男女差の無い数少ないスポーツです。場合によっては男性が負けることもあるでしょう。男女が切磋琢磨することで、互いの違いを認め尊重しあうことに繋がれば何よりと考えます。

本大会では恒例となっている、スポーツファッションやスポーツツーリズムといった、ボウリングへのモチベーションが上がるような企画も楽しみつつ、鍛錬してきた腕前を競い、ボウラー同士の親交を深め、また新たなボウリングの楽しみ方を発見されることを願っております。

終わりに、ご後援、ご協力下さいました関係各位、会場のパラダイスボウル様、主管の長崎県ボウリング連盟に厚く御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。



ご 挨拶

第 36 回オールジャパンレディストーナメント 大会副委員長
公益財団法人 JAPAN BOWLING L プロジェクト委員長
高橋 尚代

第 36 回オールジャパンレディスボウリングトーナメントを本年も開催できますことはこの上ない喜びであります。開催にご尽力下さいました関係各位に心より感謝申し上げます。

本大会は、工夫を凝らしたユニフォームの華やかさ、ユニークさを競うベストドレッサー賞の設定、各開催地の名所を巡り美味しい物を頂くオプションツアー等と、単なる競技会を超える大会として参りました。

そして、魅力にあふれたこの大会を、女性だけで独占するのはもったいない、男性も一緒に楽しみながら女性ボウラーの活躍を後押ししてほしい、という願いを込めて、昨年からは「with MEN」と題し、男性も女性とともに参加していただけることになりました。

この大会で皆様のご好きなボウリングを通して日頃の鬱憤、疲れを発散させ、友と笑い、1点を争い、自分と真剣に向き合って下さる事を心から念じてやみません。同じ志向の間と交流が深まること、また異なる志向を知る機会となること、そして何より、更に楽しみが深くなることを願います。

最後になりましたが開催にあたり多大なるご後援、ご協賛、ご協力を賜りました各位、会場をご提供下さいましたパラダイスボウル様、主管の長崎県ボウリング連盟様に心より御礼申し上げます。

では、選手皆様のご健闘をお祈りしてエールを送り、ご挨拶とさせていただきます。



歓迎のご挨拶

長崎県ボウリング連盟会長

深堀 義明

第36回オールジャパンレディストーナメント with MEN の開催にあたり、主管をいたします長崎県ボウリング連盟を代表いたしまして、全国各地よりご来崎いただきました皆様方に歓迎の意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます次第でございます。

今回、後援をいただきます公益財団法人 日本ボウリング場協会、女性スポーツ財団日本支部、公益財団法人 長崎県スポーツ協会、長崎新聞社、のサポートをいただき、会場を提供していただきましたパラダイスボウル様、関係者各位のお力添えにより開催できますことを心から感謝申し上げます。

第36回オールジャパンレディストーナメント with MEN におかれましては、日頃の練習の成果をおおいに発揮して栄冠をめざしていただきたいと思っております。

オプションツアーでハウステンボスを周遊された皆様をはじめ、大会終了後でもお時間が許すようであれば、ボウリング発祥の地である長崎市のグラバー園など8つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産」の登録をはじめとして他にも世界文化遺産の登録がされておりますので、ぜひ長崎市にも足を運んでいただき観光していただければ幸いです。

最後になりましたが、大会を主催、ご後援、ご協力いただきました関係各位、会場のパラダイスボウル様に厚く御礼申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。

第36回オールジャパンレディスボウリングトーナメント with MEN

大会役員名簿

大会会長	北川 薫	(公財) JAPAN BOWLING	会長
大会副会長	吉岡 英隆	(公財) JAPAN BOWLING	副会長
//	丹羽 秀樹	(公財) JAPAN BOWLING	副会長
//	深堀 義昭	長崎県ボウリング連盟	会長
大会委員長	齋藤 良太郎	(公財) JAPAN BOWLING	専務理事・事務局長
大会副委員長	不破 伸二	(公財) JAPAN BOWLING	常務理事
//	西林 康憲	(公財) JAPAN BOWLING	常務理事
//	高橋 尚代	(公財) JAPAN BOWLING	Lプロジェクト委員長
//	久保 和幸	長崎県ボウリング連盟	理事長
大会総務委員長	松下 秀雄	(公財) JAPAN BOWLING	総務委員長
大会競技委員長	柳川 弘行	(公財) JAPAN BOWLING	競技副委員長
大会審判委員長	伊藤 一明	(公財) JAPAN BOWLING	競技副委員長
大会認証委員長	四宮 和裕	(公財) JAPAN BOWLING	指導委員長
大会広報委員長	川崎 治夫	(公財) JAPAN BOWLING	普及・広報部会長
大会資格審査委員	近藤 浩一	(公財) JAPAN BOWLING	理事
//	田坂 幾太	(公財) JAPAN BOWLING	理事
//	根田 光朗	(公財) JAPAN BOWLING	理事
//	森 永耕造	(公財) JAPAN BOWLING	理事
//	小林 穰	(公財) JAPAN BOWLING	理事
//	川上 秀樹	(公財) JAPAN BOWLING	理事
//	飯島 祥行	(公財) JAPAN BOWLING	理事
//	山下 知且	(公財) JAPAN BOWLING	理事
大会運営委員長	野口 由美	(公財) JAPAN BOWLING	Lプロジェクト副委員長
大会運営副委員長	上田 暢子	(公財) JAPAN BOWLING	Lプロジェクト副委員長
大会運営委員	富山 幸美	(公財) JAPAN BOWLING	Lプロジェクト委員
//	村松 加王里	(公財) JAPAN BOWLING	Lプロジェクト委員
//	柳川 穂波	(公財) JAPAN BOWLING	Lプロジェクト委員
//	石嶺 可奈子	(公財) JAPAN BOWLING	Lプロジェクト委員
//	中野 麻希	(公財) JAPAN BOWLING	Lプロジェクト委員
大会事務局	宮内 久美子	(公財) JAPAN BOWLING	事務局

競技役員名簿

競技役員長	久保和幸	認証委員長	橋本徳善
競技副役員長	川上弘昭	褒章委員長	毛利友一
〃	本田博次	競技委員	吉田可以
〃	山下知且	〃	村上宏樹
総務委員長	久布白卓	〃	坂上正信
競技委員長	石田晃弘	〃	近藤加代子
競技副委員長	菊川隆行	〃	原スミ子
審判委員長	福田裕健	総務委員	富永裕恵
審判副委員長	辻貴司	〃	徳久千恵子
進行委員長	林谷隆		

大会審判員名簿

【第1種公認審判員】

久保和幸 川上弘昭 橋本徳善 福田裕健
 山下知且 毛利友一

【第2種公認審判員】

辻貴司 西納光治 原スミ子 原浩二
 久布白卓 川頭信二 金子良司 本松智
 中村惇耶

【第3種公認審判員】

野口明廣 菊川隆行 田頭義方 下釜みどり
 石田晃弘 松井博史 川口茂樹 坂上正信
 吉田可以 土井勇次 下釜和則 富永信明
 前道民夫 蓮子隆博 崎戸祥子 才木隆
 長島恵津子 徳久博 近藤加代子

開催要項

2024.05.11 更新版

主催 公益財団法人 JAPAN BOWLING

後援 公益社団法人日本ボウリング場協会
女性スポーツ財団日本支部 (WSF Japan)
公益財団法人長崎県スポーツ協会
長崎新聞社

協賛 株式会社サンブリッジ
ミーフコーポレーション

協力 日本ボウリング機構 (JBO)

主管 長崎県ボウリング連盟

開催期日 2024年5月31日(金)～6月2日(日)

競技会場 パラダイスボウル (JB 公認競技場 No. 142-048 BW-36L)
〒859-3226 長崎県佐世保市崎岡町 853-12
TEL: 0956-56-3113 FAX: 0956-56-3111

競技種目 ① ダブルス戦 (クラス不問、男女混合可)
② クラス別個人戦
(1) ルビークラス (旧: 一般レディースの部)
(2) サファイアクラス (旧: シニアレディースの部)
(3) オニキスクラス (男性の部)

年齢区分 (1) ルビークラス 2024年4月1日現在 満49歳以下の女性
(2) サファイアクラス 2024年4月1日現在 満50歳以上の女性
(3) オニキスクラス 男性 (年齢区分なし)

競技方式 デュアルレーン方式 (アメリカ方式) で実施する。

競技方法 【ダブルス戦】 (クラス不問)

女性+女性または女性+男性でペアを組み、1人9ゲームの競技を行い (1ゲーム毎にレーン移動)、その合計得点により順位を決定する。

【クラス別個人戦】

ダブルス戦における個人総得点上位より以下の人数を選出し、さらに3ゲームの競技を行い (1ゲーム毎にレーン移動)、12ゲームの総得点により上

L ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT with MEN

位3位までの者をファイナルマッチ出場者とする。4位以下の順位は、12ゲーム終了時の総得点で決定する。

ルビークラス 9名、サファイアクラス 18名、オニキスクラス 15名
 ファイナルマッチはステップラダー方式で行う。各クラスとも3位の選手と2位の選手が1ゲームマッチの競技を行い、その勝者が1位の選手と1ゲームマッチの競技を行い、勝者を各クラスの優勝者とする。

※参加人数により、クラス別個人戦進出人数を変更する場合がある。

競技規程 JB ボウリング競技規則を適用する。

同位の裁定 ダブルス戦・クラス別個人戦において同位が生じた場合は、第133条に基づき裁定する。
 ただし、ファイナルマッチで同点の場合は、9・10 フレームの決定戦により順位を決定する。

HDCP 男女とも、下記ハンディキャップを付与する

年 齢	～14 歳 (中学生以下)	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳
HDCP	10	5	10	15	20

以降、5歳につき5点を加算する。

※年齢基準は、2024年4月1日現在の満年齢とする。

参加資格 2024年度 JB 登録会員（個人正会員、個人普通会員、実業団会員、学生連合会員、高等学校登録会員、ジュニア会員）。

施設使用料 1名につき 11,800 円
 （個人正会員、個人普通会員、実業団会員、学生連合会員、高等学校登録会員、ジュニア会員）

褒 賞

- ダブルス戦
 - 優 勝～第3位 賞状・メダル
 - 第4位～第8位 賞状
- クラス別個人戦
 - 優 勝 賞状・メダル・カップ（取り切り）
 - 準優勝～第3位 賞状・メダル
 - 第4位～第8位 賞状
- ハイゲーム賞 賞状
 （ダブルス戦 9G を対象、スクラッチ、同点の場合は該当者全員）
- プリンセス賞 満18歳以下の女子個人最上位選手
- クィーン賞 満75歳以上の女子個人最上位選手

※年齢は 2024 年 4 月 1 日現在

ベストドレッサー賞 2名または1ペア

申込方法 各都道府県連盟および学生連合にて所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、締切日までに下記へメールにて申し込む。送金締切日までに参加選手分の施設使用料を所定の口座に振り込むこと。

注1) 異なる連盟・連合の選手2名によるペアでのエントリーも可能とする。

注2) 1名単位でのエントリーも可能とする。その場合、ダブルス戦はメイクチームでの参加とし、チーム編成は主催者が決定する。なおメイクチームもダブルス戦の表彰対象とする。

申込先 公益財団法人 JAPAN BOWLING (担当：宮内)
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 Japan Sport Olympic Square 5F
TEL：03-6804-5605
FAX：03-6804-5606
Eメールアドレス： miyauchi-k@japan-bowling.or.jp

- 注意事項**
- (1) 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害や感染症の流行等により大会を中止した場合、旅費、宿泊費の補償はしない。
 - (2) 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証（原本または写し）を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。
 - (3) ユニフォームには氏名を明記し、チームメンバーは出来る限り同一デザインのユニフォームを着用すること。スポーツに適したものとし、上半身に着用する衣服は袖のついたもの、下半身に着用する衣服は、スラックス、スカートまたは運動用ショートパンツとする。（ジーンズ生地は禁止）左胸にはJBワッペン（移行期間のためJBCワッペンも可）を着用すること。
 - (4) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
 - (5) ボールについて
 - 参加選手は、会場内に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。ボールの登録は、2個目から（特別会員は4個目から）1個につき500円を納入するものとする。5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。（公認ゲーム600ゲーム以上達成者は、7個目まで特別保管料を免除し、8個目から1個につき1,000円を追加徴収する）ボールの追加登録は原則として認めない。
 - 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円とし大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
 - 会場内へのボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。

- 競技中に参加全選手の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- (6) 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報（氏名・年齢・性別・記録・肖像等）は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載権・使用权は主催者に属する。
- (7) 本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報（肖像を含む）およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。

ドーピング検査について

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

競技規則(抜粋)

第133条(同位ピンの裁定)

競技の勝位の決定について、個人又はチーム戦の得点が同点の場合、次のとおり裁定する。

- (1) シリーズにおいて同点の場合は、最高ゲームと最低ゲームの差の最も少ないものを上位とする。
- (2) 2シリーズ以上の競技において同点の場合、最高シリーズと最低シリーズの差の最も少ないものを上位とする。
- (3) 1ゲームのスコアが同点の場合及び第1号の得点差が同じ場合は、個人又はチーム戦で第10フレームまでを含めたストライク数の多いものを上位とする。
- (4) さらにストライク数が同じ場合は、スペア数の多いものを上位とする。
- (5) スペア数が同じ場合は、ともに勝者とするか、又はさらに1ゲームの決勝戦を行い、勝者を決定する。

ただし、競技要項にほかの方法で規定している場合は、その規定による。

第134条(スローボウリングの禁止)

すべての競技は遅滞なく実施し、審判員は遅滞の原因が競技者にある次のような場合には、スローボウリングと判定する。

スローボウリングの判定は、同一シリーズ内においてのみ適用し、最初は「警告」、2回目は「嚴重注意」、3回目以降は、そのフレームの得点を0とする。

- (1) 競技者は、自分の投球順で左右の隣接するレーンがあいている場合、直ちに投球態勢をとらなければならない。
- (2) 競技投球者は、投球の準備態勢に入ろうとしているすぐ右側レーンの競技者に対してのみ優先投球権を認めなければならない。
- (3) 競技者が1レーンに1名又は2名で競技する場合は、当該シフトで進行の早い競技者から、原則として4フレーム以上の遅れ、3名以上で競技する場合は、2フレーム以上の遅れがあった場合は、機械の故障等の有無を確認の後、判定する。
- (4) 競技者は、前の競技者のボールがボールラックに戻ったときから30秒以内にその競技者は投球しなければならない。その判定は、審判員が競技者を無作為に選考し、ストップウォッチにより、その競技者の投球時間を測定する。
- (5) 第4号の条文については、当分の間、指導事項とする。

第136条(ボウリングボールの表面調整及び表面加工)

ボウリングボールの表面調整及び表面加工については、国際ボウリング連盟の規定に基づき、次のとおりとする。

ゲーム中にボールの表面を調整及び加工した場合は、そのゲームの得点は0とする。

- (1) ボウリングボールの調整に使用できるポリッシュ並びにクリーナーは、国際ボウリング連盟の公式認定の物とし、ボウリングボールの表面調整は、競技が遅滞しない範囲でゲームとゲーム間で許されるが、必ず手で実施し、ボウラーズエリア内では行うことはできない。
- (2) ボウリングボールの表面加工をすることは、第1号で規定されたものを除き、指定された場所において、公式練習中、競技直前の練習時間中及びシフトとシフトの間は許される。
- (3) ボールの表面を調整及び加工した場合は、その表面に付着物があってはならない。

第406条(遅刻)

競技者は、競技開始予定時間の30分前までに、あらかじめ定められた場所に集合し、受付を通過する。通過しない場合は、その種目は失格となる。

第407条(ボウラーズエリア)

ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT with MEN

選手権競技会において競技者、観客に識別できるようボウラーズエリアを定めるものとする。

- 2 各団体において、ボウラーズエリアに入ることでできるのは監督又はコーチのいずれか1名とする。ただし、各選手権競技会において別の定めがある場合、この限りではない。
- 3 ボウラーズエリアに入ることでできる範囲は、自チームの競技しているボウラーズエリア内とする。

第410条（使用ボール）

選手権競技会に使用するボールは、次の各号に基づいて使用するものとする。

- (1) 選手権競技会に出場する者の使用ボールは、すべて国際ボウリング連盟公式認定ボール又はこの法人の公式認定ボールで認証検査に合格したものであること。また、常にこの法人規定の「ボール検査合格証」を携帯していなければならない。
- (2) 合格したボールでも、表面にテープ、ペンキ等で目印をしたり、明らかに故意にキズをつけた場合は、失格とする。
- (3) ボールの表面調整及び表面加工については、競技規程第136条を適用する。
- (4) 競技者は、大会に使用するすべてのボールを登録しなければならない。
- (5) 1991年1月1日以降に製造されたボールのみ使用が認められる。
- (6) 上記のほか、競技規程第135条を適用する。

第418条（競技者の服装）

選手権競技会に参加する競技者の服装は、競技規程第137条及びこの法人の服装規則を遵守すること。

第419条（競技中の飲食、喫煙）

競技中の飲食、喫煙は一切禁止する。ただし、アルコールを含まない飲料をボウラーズエリア以外の指定された場所で飲むことは許される。

また、競技者はボウラーズエリアをみだりに離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず審判員に申し出て承認を得なければならない。

※ その他は、すべてこの法人の競技規則を適用する。

【注 意 事 項】

- ※ 競技会及び選手権大会の競技中2個以上のボールを使用する場合は、次のことを厳守して下さい。
 - (イ) 競技中、特別の指示がある場合を除きボールラックには1人1個のボールしか置くことはできない。
 - (ロ) 競技会および選手権大会では、競技開始前に主管認証部へ会場に持ち込んだ全てのボールを登録しなければならない。その際の登録料は、2個目から1個につき500円の登録料を納めなければならない。また、5個以上を登録する場合は、別途の料金が必要となる。
 - (ハ) 競技中にボール交換のために、他の競技者に迷惑をかけたり、競技進行に支障を生じさせた場合は、スローボウリング（競技規程第134条）の適用を受ける場合がある。
- ※ 大会には、ボールの持込を1人4個以内に自粛するよう指導事項となっております。ご協力をお願いいたします。
- ※ 大会会場に4個以上持ち込んだ場合でも、競技フロアへのボールの持ち込みは4個以内とします。ダブルボールバッグ2つ、あるいはトリプルボールバッグ1つとシングルボールバッグ1つで運搬するなど、外形的にも4個以内であることがわかるようにしてください。競技中のボールの入れ替えは可能ですが、競技が遅滞しない範囲で行ってください。
- ※ ハイゲーム、ハイシリーズ賞とも同点の場合は、該当者全員を表彰します。（選手権競技会規程第414条）

競 技 会 日 程 表

月 日	時 間	内 容		備 考
(第1日目) 5月31日(金)	13:15~20:30	オプションツアー	長崎空港 ⇒パラダイスボウル ⇒ハウステンボス	希望者のみ
(第2日目) 6月1日(土)	8:30~	開 場		
	9:00~ 9:45	ボール登録 (A組選手対象)		
	10:00~10:15	選手ミーティング	パラダイスボウル	
	10:20~10:40	開会式	パラダイスボウル	A組選手のみ 参加
	10:55~12:35	ダブルス戦A組 予選1回戦	2×2名打	
	11:45~12:30	ボール登録 (B組選手対象)		
	12:45~13:00	選手ミーティング	パラダイスボウル	
	13:05~14:45	ダブルス戦B組 予選1回戦	2×2名打	
	15:00~16:40	ダブルス戦A組 予選2回戦	2×2名打	
	16:55~18:35	ダブルス戦B組 予選2回戦	2×2名打	
	18:50~20:30	ダブルス戦A組 予選3回戦	2×2名打	

L ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT with MEN

月 日	時 間	内 容		備 考
(第3日目) 6月2日(日)	7:00~	開 場		
	8:00~ 9:40	ダブルス戦B組 予選3回戦	2×2名打	
	10:10~10:30	クラス別個人戦 出場選手発表・受付		
	11:00~12:15	クラス別個人戦	1×2名打	
	12:40~13:40	決勝ステップラダー	(各部門3名)	
	14:10~14:40	表彰式・閉会式		

※参加人数によりスケジュールが変更になる場合があります。

※競技の進行状況により開始時間が前後する場合があります。

レーン配当表 (1)

チームNo.	投球順	連盟	姓名	クラス	HDCP	シフト	1回戦	2回戦	3回戦
1	1	埼玉	日吉 麻奈美	ルビー	10	A	10	21	33
	2	埼玉	日吉 直人	オニキス	0	A			
2	1	東京	石田 千穂	サファイア	10	A	15	26	7
	2	東京	石田 隆	オニキス	15	A			
3	1	東京	吉田 有華	ルビー	0	A	27	8	19
	2	東京	大塚 鷹美	オニキス	10	A			
4	1	東京	森野 華世	サファイア	5	A	6	17	26
	2	東京	富山 幸雄	オニキス	30	A			
5	1	東京	小見渕 典子	サファイア	25	A	18	29	8
	2	東京	森野 丈栄	オニキス	0	A			
6	1	東京	安藤 いく子	サファイア	25	A	29	10	21
	2	東京	松原 聡	オニキス	20	A			
7	1	東京	熊本 美穂	サファイア	10	A	23	34	15
	2	東京	飯島 祥行	オニキス	0	A			
8	1	長野	池谷 小枝子	サファイア	20	A	12	23	32
	2	長野	両角 英樹	オニキス	15	A			
9	1	愛知	田野 結梨	ルビー	0	A	22	33	12
	2	愛知	押切 絢音	ルビー	0	A			
10	1	愛知	鈴木 のり子	サファイア	15	A	19	30	11
	2	愛知	手島 登	オニキス	10	A			
11	1	三重	森脇 南海子	サファイア	30	A	32	13	22
	2	三重	馬場 かづ子	サファイア	10	A			
12	1	三重	柳川 弘行	オニキス	20	A	8	19	28
	2	三重	柳川 穂波	サファイア	20	A			
13	1	三重	田端 彩子	サファイア	5	A	21	32	13
	2	三重	田端 利昭	オニキス	5	A			
14	1	三重	中谷 あゆみ	サファイア	10	A	14	25	34
	2	三重	中谷 優太	オニキス	0	A			
15	1	三重	澤田 英子	サファイア	25	A	26	7	16
	2	三重	澤田 賢二郎	オニキス	30	A			

レーン配当表 (2)

チームNo.	投球順	連盟	姓名	クラス	HDCP	シフト	1回戦	2回戦	3回戦
16	1	大阪	山口 知恵子	サファイア	15	B	17	28	9
	2	大阪	松井 正信	オニキス	30	B			
17	1	大阪	吉留 聖子	サファイア	15	B	26	7	16
	2	大阪	寺村 眞代	サファイア	30	B			
18	1	大阪	小畠 今日子	サファイア	20	B	8	19	28
	2	大阪	志摩 悠介	オニキス	0	B			
19	1	兵庫	森 美樹	サファイア	5	A	17	28	9
	2	兵庫	河村 行則	オニキス	0	A			
20	1	岡山	三原 唯	ルビー	0	A	5	16	27
	2	岡山	三原 真	オニキス	10	A			
21	1	愛媛	久保 富貴恵	サファイア	25	A	30	11	20
	2	愛媛	西森 安正	オニキス	30	A			
22	1	愛媛	木村 千代	サファイア	10	A	24	5	14
	2	愛媛	柴田 論	オニキス	10	A			
23	1	愛媛	石丸 幸子	サファイア	20	A	13	24	5
	2	愛媛	松浦 寿美子	サファイア	25	A			
24	1	福岡	梶原 教子	サファイア	20	B	19	30	11
	2	福岡	大賀 保文	オニキス	20	B			
25	1	福岡	小鶴 景子	サファイア	30	B	30	11	20
	2	福岡	円城寺 真由美	サファイア	15	B			
26	1	福岡	清水 正洋	オニキス	0	B	11	22	33
	2	福岡	清水 美香	ルビー	0	B			
27	1	佐賀	鈴木 波流	ルビー	0	B	23	34	15
	2	佐賀	西島本 有生	オニキス	0	B			
28	1	長崎	開 美恵子	サファイア	30	B	14	25	34
	2	長崎	菊川 曜子	サファイア	15	B			
29	1	長崎	山下 直美	サファイア	15	B	28	9	18
	2	長崎	牧山 直樹	オニキス	20	B			
30	1	長崎	山口 夏花	ルビー	0	B	10	21	30
	2	長崎	徳久 祐紀	オニキス	0	B			

レーン配当表 (3)

チームNo.	投球順	連盟	姓名	クラス	HDCP	シフト	1回戦	2回戦	3回戦
31	1	長崎	平田 佐智子	サファイア	15	A	31	12	23
	2	長崎	平田 義隆	オニキス	15	A			
32	1	長崎	菅 寛子	サファイア	15	B	33	14	25
	2	長崎	山口 一之	オニキス	15	B			
33	1	長崎	橋本 徳善	オニキス	35	B	21	32	13
	2	長崎	山崎 千代美	サファイア	5	B			
34	1	長崎	長島 恵津子	サファイア	15	B	6	17	26
	2	長崎	西納 光治	オニキス	20	B			
35	1	長崎	坂口 由起子	サファイア	5	A	9	20	31
	2	長崎	鴨川 加代子	サファイア	10	A			
36	1	長崎	成末 由香里	サファイア	10	B	12	23	32
	2	長崎	岩永 絹子	サファイア	30	B			
37	1	長崎	金子 愛子	サファイア	30	B	32	13	22
	2	長崎	金子 良司	オニキス	20	B			
38	1	長崎	伊藤 章子	サファイア	5	A	16	27	6
	2	長崎	弟子丸 慎一郎	オニキス	5	A			
39	1	長崎	近藤 加代子	サファイア	15	B	18	29	8
	2	長崎	山中 美智恵	サファイア	15	B			
40	1	長崎	松尾 美代子	サファイア	35	B	15	26	7
	2	長崎	今坂 順子	サファイア	30	B			
41	1	長崎	中島 唯	ルビー	10	B	25	6	17
	2	長崎	中島 佳音	ルビー	0	B			
42	1	長崎	中島 陽子	ルビー	0	B	31	12	23
	2	長崎	中島 経善	オニキス	0	B			
43	1	長崎	田中 裕子	ルビー	0	B	9	20	31
	2	長崎	林田 慎一郎	オニキス	0	B			
44	1	長崎	吉田 純子	サファイア	20	B	20	31	10
	2	長崎	川上 弘昭	オニキス	15	B			
45	1	沖縄	仲宗根 雅恵	ルビー	0	B	7	18	29
	2	沖縄	仲宗根 宏樹	オニキス	0	B			

レーン配当表（４）

チームNo.	投球順	連盟	姓名	クラス	HDCP	シフト	1回戦	2回戦	3回戦
46	1	沖縄	大底 京子	サファイア	15	B	13	24	5
	2	沖縄	前田盛 淳	オニキス	20	B			
47	1	沖縄	仲宗根 瑞希	ルビー	10	B	24	5	14
	2	沖縄	荻堂 純子	サファイア	5	B			
48	1	学連	須藤 真海	ルビー	0	A	20	31	10
	2	学連	吉原 正明	オニキス	0	A			
49	1	沖縄	砂川 舞佳	ルビー	0	B	5	16	27
	2	福岡	長尾 脩甫	オニキス	0	B			
50	1	兵庫	水井手 けい子	サファイア	15	A	28	9	18
	2	茨城	檜垣 智美	サファイア	5	A			
51	1	長崎	本村 カズコ	サファイア	20	B	22	33	12
	2	福岡	本村 優佳	ルビー	0	B			
52	1	長崎	富永 知紗希	ルビー	0	B	16	27	6
	2	福岡	樋口 幹人	オニキス	0	B			
53	1	長崎	福満 亮	オニキス	0	B	27	8	19
	1	愛媛	泉宗 心音	ルビー	0	B			
54	1	沖縄	上原 未美	サファイア	25	A	11	22	30
	2	福井	高木 則子	サファイア	15	A			
55	1	熊本	久保田 千佳	ルビー	0	B	29	10	21
	2	長崎	山本 達也	オニキス	0	B			
56	1	埼玉	吉田 由美子	サファイア	15	A	25	6	17
	1	島根	林田 尚恵	サファイア	20	A			
57	1	青森	高橋 咲紀	ルビー	0	A	33	14	25
	2	東京	田窪 一翔	オニキス	0	A			
58	1	東京	穴田 順子	サファイア	10	A	7	18	29
	1	熊本	塚本 佐代子	サファイア	30	A			
59	1	福岡	渡邊 美和	サファイア	10	B	34	15	24
	2	長崎	辻 貴司	オニキス	20	B			

クラス別個人戦レーン配当表

ダブルス戦における 個人総得点順位	ルビークラス	サファイアクラス	オニキスクラス
1位	3-1	11-1	25-1
2位	4-1	12-1	26-1
3位	4-2	12-2	26-2
4位	5-1	13-1	27-1
5位	6-1	14-1	28-1
6位	6-2	14-2	28-2
7位	7-1	15-1	29-1
8位	8-1	16-1	30-1
9位	8-1	16-2	30-2
10位		17-1	31-1
11位		18-1	32-1
12位		18-2	32-1
13位		19-1	33-1
14位		20-1	34-1
15位		20-2	34-2
16位		21-1	
17位		22-1	
18位		22-2	

※ 最初のレーン配当とし、2ゲーム目3ゲーム目はクラス内で右に各1BOX移動。

栄光の記録

【第1回大会】1988年12月3日～4日

参加：163名

会場：東京・田町ハイレーン

	一般レディスの部			シニアレディスの部		
優勝	津崎ひろみ	(熊本)	2,393	大久保ひで	(神奈川)	2,331
準優勝	河上光子	(神奈川)	2,392	五十嵐ヒロ子	(東京)	2,315
第3位	林麻由美	(宮崎)	2,380	小池和美	(京都)	2,303

【第2回大会】1989年12月2日～3日

参加：185名

会場：東京・田町ハイレーン

	一般レディスの部			シニアレディスの部		
優勝	浅井敦子	(福岡)	199 180	小池和美	(京都)	216 214
準優勝	河上光子	(神奈川)	179	柴田慶子	(北海道)	182
第3位	鈴木春美	(東京)	188	大橋幸子	(福岡)	159

【第3回大会】1990年12月1日～2日

参加：205名

会場：東京・調布スポーツセンター

	ヤングレディスの部		一般レディスの部		シニアレディスの部	
優勝	永井都志子	(京都)	201 183	喜名京子	(沖縄)	196
準優勝	川瀬知子	(東京)	173	浅田幸子	(千葉)	197 177
第3位	畑中知子	(北海道)	189	志野佳子	(大阪)	188
					青木鈴枝	(東京)
						178

【第4回大会】1991年11月30日～12月1日

参加：211名

会場：東京・調布スポーツセンター

	ヤングレディスの部		一般レディスの部		シニアレディスの部	
優勝	関根直子	(学連)	255 193	兼松真知子	(千葉)	198 227
準優勝	畑中知子	(北海道)	180	稲津久美子	(北海道)	186
第3位	室田好美	(東京)	202	岩崎文子	(東京)	169
					浅岡信恵	(広島)
						179

【第5回大会】1992年12月5日～6日

参加：216名

会場：東京・調布スポーツセンター

	ヤングレディスの部		一般レディスの部		シニアレディスの部	
優勝	櫻井朋子	(三重)	190	稲内教子	(京都)	213
準優勝	畑中知子	(北海道)	203 171	稲津久美子	(北海道)	220 193
第3位	三小田清美	(福岡)	169	山下貴子	(福岡)	178
					青木鈴枝	(東京)
						170

【第6回大会】1993年12月4日～5日

参加：196名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボーリングセンター

	ヤングレディスの部		一般レディスの部		シニアレディスの部	
優勝	櫻井朋子	(三重)	192	稲内教子	(京都)	204
準優勝	関根直子	(学連)	223 178	酒井真由美	(神奈川)	263 196
第3位	山田しのぶ	(愛知)	207	中村美佐江	(神奈川)	138
					青木鈴枝	(東京)
						182

【第7回大会】1994年12月2日～4日

参加：224名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボーリングセンター

	ヤングレディスの部		一般レディスの部		シニアレディスの部	
優勝	山本みゆき	(福岡)	212 195	林雅子	(北海道)	245
準優勝	柴崎恵子	(千葉)	169	酒井真由美	(神奈川)	205 191
第3位	川瀬知子	(東京)	185	吉川真弓	(神奈川)	159
					西谷奈知子	(京都)
						185

栄光の記録

【第8回大会】1995年12月1日～3日

参加：185名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボーリングセンター

	ヤングレディスの部	一般レディスの部	シニアレディスの部
優勝	渋谷樹子(神奈川) 211 206	和田すま子(東京) 199	原章代(兵庫) 194
準優勝	山本みゆき(福岡) 158	阿部巳枝子(愛知) 194 192	村上ヒデ子(大阪) 176 187
第3位	鷲塚志麻(東京) 191	林雅子(北海道) 190	西谷奈知子(京都) 175

【第9回大会】1996年12月6日～8日

参加：165名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボーリングセンター

	ヤングレディスの部	一般レディスの部	シニアレディスの部
優勝	山本みゆき(福岡) 203 204	林雅子(北海道) 202	青木鈴枝(東京) 202
準優勝	鷲塚志麻(東京) 178	岸田みゆき(神奈川) 192 191	浅井敦子(福岡) 225 178
第3位	川瀬知子(東京) 197	川口美永(群馬) 164	倉内光江(滋賀) 177

【第10回大会】1997年12月5日～7日

参加：179名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボーリングセンター

	ヤングレディスの部	一般レディスの部	シニアレディスの部
優勝	竹内昭子(愛知) 238	平川佳代子(福岡) 224 198	近藤キヌ子(神奈川) 199 227
準優勝	柴崎恵子(千葉) 241 201	吉川真弓(神奈川) 157	倉内光江(滋賀) 181
第3位	窪谷美享(学連) 185	山下貴子(福岡) 172	寺村真代(大阪) 159

【第11回大会】1998年11月27日～29日

参加：146名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボーリングセンター

	ヤングレディスの部	一般レディスの部	シニアレディスの部
優勝	木村真理(学連) 216 207	平川佳代子(福岡) 176	青木鈴子(東京) 178 184
準優勝	板倉奈智美(和歌山) 194	田中市子(京都) 168 159	寺村真代(大阪) 165
第3位	清水弘子(神奈川) 169	鈴木英子(福島) 162	浜辺雅子(東京) 175

【第12回大会】1999年12月17日～19日

参加：171名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボーリングセンター

	ヤングレディスの部	一般レディスの部	シニアレディスの部
優勝	板倉奈智美(和歌山) 204 225	小池清美(東京) 246 222	内田正子(茨城) 218
準優勝	木村真理(徳島) 161	山下貴子(福岡) 203	小黒テル子(神奈川) 179 215
第3位	窪谷美享(学連) 191	中上佐代子(兵庫) 241	浅井敦子(福岡) 168

【第13回大会】2000年12月15日～17日

参加：186名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボーリングセンター

	ヤングレディスの部	一般レディスの部	シニアレディスの部
優勝	藤井聖絵(福岡) 193	吉川真弓(神奈川) 215	吉村光子(福岡) 235 216
準優勝	石嶺可奈子(学連) 231 172	鈴木英子(福島) 205 158	和田すま子(東京) 204
第3位	窪谷美享(京都) 215	小池清美(東京) 182	原章代(兵庫) 202

【第14回大会】2001年12月14日～16日

参加：189名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボーリングセンター

	ヤングレディスの部	一般レディスの部	シニアレディスの部
優勝	清水弘子(神奈川) 210	鈴木英子(福島) 223 217	唐津美佐子(埼玉) 192 199/37
準優勝	石嶺可奈子(学連) 238 205	板倉奈智美(和歌山) 178	山崎勝子(京都) 199/28
第3位	吉川朋絵(神奈川) 195	長久保華世(東京) 186	板倉朱実(愛知) 176

栄光の記録

【第15回大会】2002年12月13日～15日

参加：206名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボウリングセンター

	ヤングレディスの部		一般レディスの部		シニアレディスの部	
優勝	福田久美(埼玉)	228 247	清水弘子(千葉)	220	青木鈴子(東京)	205
準優勝	佐藤香津美(東京)	222	木村真理(徳島)	237 215	立花登紀子(神奈川)	211 198
第3位	高坂麻衣(神奈川)	210	吉川真弓(神奈川)	201	高橋とよ(東京)	209

【第16回大会】2003年12月12日～14日

参加：211名

会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボウリングセンター

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	土屋佑佳(神奈川)	224 181	平田智恵子(熊本)	213	立花登紀子(神奈川)	192
準優勝	長久保華世(東京)	174	具志則子(沖縄)	203 167	相部恵子(福岡)	226 190
第3位	鈴木理沙(学連)	213	小見淵典子(東京)	188	高橋絹子(岩手)	178

【第17回大会】2004年6月11日～13日

参加：190名

会場：大阪・イーグルボウル

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	高坂麻衣(神奈川)	190 181	竹本佐知子(広島)	196	福原秀子(京都)	189
準優勝	阿部公英(大阪)	170	唐津美佐子(埼玉)	200 173	岡田恵美子(奈良)	214 183
第3位	河村みほろ(学連)	181	小見淵典子(東京)	193	国井文子(兵庫)	203

【第18回大会】2005年6月17日～19日

参加：163名

会場：山形・山形ファミリーボウル

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	大石奈緒(山形)	227 279	小南桂子(山形)	221 186	相部恵子(福岡)	181
準優勝	長久保華世(東京)	150	和田すま子(東京)	164	近藤キヌ子(神奈川)	203 150
第3位	大坪菜摘美(神奈川)	216	小見淵典子(東京)	211	井上美津枝(群馬)	153

【第19回大会】2006年6月16日～18日

参加：222名

会場：京都・しょうざんボウル

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	丹生愛子(大阪)	196 223	加藤二志子(愛知)	205	島富士子(三重)	173 201
準優勝	大石奈緒(山形)	201	池谷小枝子(長野)	200 189	中村邦子(石川)	169
第3位	土屋佑佳(神奈川)	180	大平洋子(岩手)	160	西川みち子(京都)	166

【第20回大会】2007年6月8日～10日

参加：214名

会場：岡山・水島国際ボウリング会館

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	片井文乃(静岡)	208 215	茶谷晴美(大阪)	211	寺村真代(大阪)	209
準優勝	竹俣茉耶(福島)	181	仁科成美(岡山)	197 195	沖崇子(広島)	204 193
第3位	丹生愛子(大阪)	183	柳川穂波(三重)	162	木下洋子(愛媛)	175

【第21回大会】2008年5月30日～6月1日

参加：220名

会場：石川・ジャンボボール

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	小泉奈津美(学連)	228	今村佳代子(福井)	223	平仲節子(山口)	173 202
準優勝	片井文乃(静岡)	198 183	鈴木由記子(宮城)	235 215	大丸谷智子(石川)	182
第3位	北村光彩(石川)	168	久慈順子(岩手)	191	福原秀子(京都)	163

栄光の記録

【第22回大会】2009年6月12日～14日

参加：169名

会場：長崎・長崎ラッキーボウル

	ヤングの部	ミドルの部	シニアの部
優勝	平野智美(大阪) 2,706	鈴木由記子(宮城) 2,576	東いつ子(大阪) 2,371
準優勝	中野麻希(静岡) 2,666	長島恵津子(長崎) 2,572	久慈順子(岩手) 2,366
第3位	佐野真紀(石川) 2,588	今村佳代子(福井) 2,413	有田登美子(石川) 2,322

【第23回大会】2010年6月11日～13日

参加：221名

会場：兵庫・神戸六甲ボウル

	ヤングの部	ミドルの部	シニアの部
優勝	木村真理(徳島) 258	今村佳代子(福井) 177 255	久慈順子(岩手) 184
準優勝	小泉奈津美(学連) 233 213	松本君代(奈良) 216	岡田恵美子(奈良) 190 178
第3位	畠田佳世子(広島) 146	松村佳美(和歌山) 163	鈴木信子(東京) 183

【第24回大会】2011年6月10日～12日

参加：190名

会場：三重・津グランドボウル

	ヤングの部	ミドルの部	シニアの部
優勝	濱元美貴恵(岐阜) 178 215	金子智恵子(新潟) 206	寺村真代(大阪) 161 257
準優勝	木村真理(徳島) 189	長田恵子(三重) 250 169	和田すま子(東京) 183
第3位	高淵佳恋(岡山) 177	中田千明(三重) 211	守田順子(愛媛) 151

【第25回大会】2012年6月15日～17日

参加：135名

会場：北海道・総合レジャーサンコーボウル

	ヤングの部	ミドルの部	シニアの部
優勝	石川絵理(北海道) 231	笠井和恵(北海道) 214 203	寺口エミ子(北海道) 209
準優勝	高橋美沙(岐阜) 219 215	今村佳代子(福井) 182	西川みち子(京都) 204 193
第3位	本間由佳梨(北海道) 195	柳川穂波(三重) 178	久慈順子(岩手) 177

【第26回大会】2013年6月14日～16日

参加：184名

会場：広島・広電ボウル

	ヤングの部	ミドルの部	シニアの部
優勝	岡本美月(福岡) 239 247	東しのぶ(岡山) 202 265	寺口エミ子(北海道) 196 245
準優勝	竹川ひかる(岐阜) 223	鈴木由記子(宮城) 227	小池和美(京都) 232
第3位	石本美来(広島) 236	林静恵(山口) 199	久慈順子(岩手) 181

【第27回大会】2014年6月6日～8日

参加：175名

会場：静岡・浜松毎日ボウル

	ヤングの部	ミドルの部	シニアの部
優勝	中野麻希(大阪) 225 237	渡邊美和(福岡) 211 195	浜元小夜子(愛知) 239 188
準優勝	岡本美月(福岡) 207	澤田典子(滋賀) 194	吉川朋子(三重) 160
第3位	竹川ひかる(岐阜) 182	橋之口かおり(岡山) 194	寺口エミ子(北海道) 182

【第28回大会】2015年6月5日～7日

参加：121名

会場：埼玉・新狭山グランドボウル

	ヤングの部	ミドルの部	シニアの部
優勝	入江菜々美(岐阜) 226 228	渡邊美和(福岡) 171 211	吉川朋子(三重) 212 254
準優勝	大嶋有香(埼玉) 206	東しのぶ(岡山) 183	上原末美(沖縄) 174
第3位	竹川ひかる(岐阜) 172	池谷小枝子(長野) 159	小池和美(京都) 196

栄光の記録

【第29回大会】2016年6月3日～5日

参加：127名

会場：岐阜・岐阜グランドボウル

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	竹川ひかる（岐阜）	280	照屋也子（沖縄）	192 154	柳川穂波（三重）	201 255
準優勝	菅原要子（岩手）	221 226	馬場かづ子（三重）	112	久慈順子（岩手）	177
第3位	大林令奈（岡山）	177	鈴木由記子（宮城）	189	寺村真代（大阪）	170

【第30回大会】2017年6月1日～3日

参加：152名

会場：京都・しょうざんボウル

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	入江菜々美（岐阜）	234	渡邊美和（福岡）	216	吉川朋子（三重）	201
準優勝	水谷秋穂（愛知）	224 226	鍵野礼子（京都）	212 189	中川みち子（滋賀）	210 198
第3位	大林令奈（岡山）	203	大井典子（岡山）	194	澤田英子（三重）	201

【第31回大会】2018年6月1日～3日

参加：86名

会場：福島・ボウルアピア郡山

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	大林令奈（岡山）	222	太田千恵（神奈川）	204	唐津美佐子（埼玉）	199
準優勝	岩元美咲希（愛知）	224 167	馬場かづ子（三重）	199 157	湯本友子（栃木）	190 195
第3位	大河内未来（福島）	212	森野華世（東京）	189	寺村真代（大阪）	183

【第32回大会】2019年6月7日～9日

参加：128名

会場：愛媛・キスケKIT

	ヤングの部		ミドルの部		シニアの部	
優勝	鈴木波流（静岡）	196	桐生由紀子（愛知）	191	柳川穂波（三重）	198
準優勝	泉宗心音（愛媛）	226 172	高木則子（福井）	177 176	吉川朋子（三重）	211 159
第3位	梶田ひかる（三重）	166	太田香織（愛媛）	162	中ヒロ子（福井）	201

【第33回大会】2021年6月4日～6日

参加：100名

会場：富山・富山地鉄ゴールデンボウル

	一般レディースの部		シニアレディースの部	
優勝	岩元美咲希（学連）	236 246	澤田英子（三重）	182 202
準優勝	入江菜々美（三重）	243	吉田由美子（埼玉）	183
第3位	戸塚知菜（愛知）	191	伊東千枝子（栃木）	153

【第34回大会】2022年6月3日～5日

参加：124名

会場：東京・平和島スターボウル

	一般レディースの部		シニアレディースの部	
優勝	石井こころ（埼玉）	230	小見淵典子（東京）	207
準優勝	我孫子美葵（宮城）	239 201	柳川穂波（三重）	197 190
第3位	石田万音（兵庫）	225	松野琴美（東京）	184

L ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT with MEN

第35回オールジャパンレディスボウリングトーナメント with MEN 成績表

2023年6月2日(金)～4日(日)

参加：122名

群馬・パークレーン高崎

《ルビークラス》49歳以下の女性					《ダブルス戦》				
優勝	矢野 彩花	(東京)	202	222	優勝	須藤 真海	(学連)		3,929
準優勝	藤田 妃夏	(東京)		205		吉原 正明	(学連)		
第3位	近藤 真桜	(群馬)	199		準優勝	熊田 菜奈海	(埼玉)		3,894
第4位	生方 佐緒理	(群馬)		2,478		廣岡 光希	(埼玉)		
第5位	須藤 真海	(学連)		2,452	第3位	矢野 彩花	(東京)		3,789
第6位	番井 琴音	(北海道)		2,420		藤田 妃夏	(東京)		
《サファイアクラス》50歳以上の女性					第4位	生方 佐緒理	(群馬)		3,770
優勝	池谷 小枝子	(長野)	202			瀧村 和則	(群馬)		
準優勝	小見淵 典子	(東京)	232	201	第5位	池谷 小枝子	(長野)		3,702
第3位	了舟 さゆり	(千葉)	230			池谷 信一	(長野)		
第4位	柳川 穂波	(三重)		2,419	第6位	森野 華世	(東京)		3,691
第5位	吉川 朋子	(三重)		2,354		森野 丈栄	(東京)		
第6位	今井 佳子	(愛知)		2,341	ブリンセス	藤田 妃夏	(東京)		2,631
《オニキスクラス》男性(年齢区分なし)					クイーン	寺村 眞代	(大阪)		2,317
優勝	吉原 正明	(学連)	268	278	《ハイゲーム》				
準優勝	廣岡 光希	(埼玉)		244	ルビー	生方 佐緒理	(群馬)		279
第3位	浦野 一稀	(埼玉)	232		サファイア	林田 尚恵	(島根)		238
第4位	森野 丈栄	(東京)		2,636	オニキス	廣岡 光希	(埼玉)		279
第5位	宮本 拓実	(茨城)		2,597					
第6位	齋藤 大哉	(埼玉)		2,591					